



ちよろかわナマイキ後輩
収録台本

キャラクター：ミコト

ファイル：b03_p01

◆◆□◆ちよろかわナマイキ後輩と毎日全肯定しあつて相思相愛ナマハメセックス

▼パート1▼

◆補足：季節を夏で想定しています。〃パートと一緒に主人公のアパートに帰ってきたところです。

●SE：蝉の鳴き声。

●SE：アパートの階段を上る足音。

●SE：ドアの開閉音

◆位置・正面：〃パートが先に部屋に入る。

miko_b03_p01_001
「んじゃと……はへ、暑いッスね。……お邪魔しまーッス…「ひー、部屋蒸し蒸しじやないッスか。ニアコノのへ、リモコノは、あつた！」

●SE：スイッチON

miko_b03_p01_002
「にひひ。先輩、電気代、コチになりまーッス！ そんじゃ早速いっちやいますか」

miko_b03_p01_003
「あ、先輩は甘くてしゅわしゅわのジュークみたいなやつシスね。あたしは、こち、いかせてもらいますんで。ストロングのやつ！」

◆補足：部屋のベッドの縁に並んで腰掛ける一人。

◆位置・右隣：肩が触れ合つほどの距離。

●SE：缶 開ける

miko_b03_p01_004
「んぐり、んぐり、んつ……フツハア～！ ぐりー… 生き返るー… 最高ー… はあ…ンシ… いぐりー…ふー」

◆位置・正面下：主人公越しにお酒を取ります。隣から主人公の前に身を乗り出す体勢。そのまま主人公の膝の上で飲みます。

三 ハト 「先輩先輩。 そつちのカワイーのも、味見していいつ
スか?やつた♪ いただきまーつす。んくつ
んつふう.....」

◆位置・正面下：頭上の主人公に向けて笑いかける

三 ハト 「んー、ジ ュースつすね。」れアルコール入つてんす
か?2パー。先輩、カワイーッスね。にひ
ひつ」

◆位置・正面：主人公の前にDVDをセシュ

三 ハト 「さてさて今日の本題は、じゃん! 三 ハトちゃん
イチオシ映画ッス! 先輩がまだ観た」とないなん
て意外ですねー。こうじうのあんましキョー三 ない
ですか? あ、大丈夫ッスか」

◆位置・右隣：主人公の隣に戻つてきて座ります。

三 ハト 「いや、あたしが選ぶ映画としもちよつと珍しいつ
ていうか、人に言い難いつていうか、めつちやラブ
ロマンスなんで.....でもSF認定が生きてめつちや
いいんすよ」

三 ハト 「まあまあ見てみてください。それじゃあ再生します
ね? じゃい」

◆補足：DVD再生。編集ではしばし間をとります。

◆位置・右隣：主人公に寄りかかつてましたが「泣いてないつす」で離れます。

三 ハト 「.....グスツ.....、ズズツ.....はー、ズビーッ.....す
んつ。.....え? なつ、泣いてないッス! てか先
輩こそ泣いてないッスか! ?へへへへへ、
楽しんでもらえたみたいで嬉しいなー」

「恋愛中ノヤリヒテ真かど、SF話題で躊躇わやハズ
ス。で、SF愛好家にあわぬる、パシケージドウハ
引かれちやう……ハ、ハーストーカーかね、
みたいな……」

「でも、どうもあらかじめ、この余韻なんスよ
miko_b03_p01_013

「でも、どっちもあるから」そ、この余韻なんスよね。いや、先輩なら分かってくれると思つてたツス！ 吞んでください、さあさあ！」

◆位置・正面下：「つて、——にあるし」で主人公の前に身を乗り出し、酒を

「えつ？ えへへ、先輩にすゞいって言われると照れるツスよ。いやへへ、今なら美味しい酒が飲めそうツス……って、」にあるし！」

●SE・フルトツプ開栓

◆位置・右隣・隣に座り直します。

「んくつ、んくつ、んつ、んつ、んつ、ブハアーツ！
はあー、先輩に褒められながら飲む酒は美味いっ
スねう。……マジですって。先輩、褒め上手などこ
ありますよね？」

「あたし、新歓のときおつちや豪め殺されて、それで
入部決めたところありますし。あ、部っていうか、
同好会ツスケどね~」

「……ぶつちやけ最初、映画同好会って、偏見あつた
ツスよ。映画知識でマウント取り合うのかなー、と
か。好きな映画、鼻で笑われたらへ口むなー、と
か」

◆演技..酔つて笑い上戸っぽいミコト

「そんでもアタシ思つたんですよ。」人の人がいる部なら
……いや同好会ツスけど……あたしも楽しく語れる
んじやないかな？ つて……」

◆補足：したら先輩（「そしたら先輩」短縮形です）

「したら先輩、マジで聞き上手だし、褒め上手だし、好き嫌いせずなんでも観てくれるし、なんでもオスメしてくれるし、しかも全部面白いし……」

miko_b03_p01_021

あ、こんど池袋の映画祭行きます。まだ日本配給未定のめちゃイイやつ来るんすよ。行きましょう絶対。一人つきりで。決まりっすねー。やったー！」

“ΠΤΔ”

「……ほら、そうやって優しいじゃないですか、そんなところがあたし、マジで好きで……」

◆演技：お酒を飲むミコト

「んつ、んつ、んくつ、んつ、んつ……ふせつ……?
あたし、今なんか話つたうスか……? は……え……
……? あえ……?」

「いや……セ、やついつ意味うス、ケル……あ、あた
し……先輩の「」どが……好き、でス……」

(主入公：オレや、三口トが好き)

「はつあ……? マジつすか……? 先輩それ、ガチつす
か? エー、ジハしよつ……めつちや……嬉しいッ
ス……ズビッ……いや泣いてないうス……わつわの
映画のせいです……グスッ」

「……いやわ、三口ト、飲みまよー」

「「」クシ、「」クシ、「」クシ……ふは……ふは……ん……
……せふ……」

◆位置・右隣密着：主入公にしだれかかり、囁くよハ」（以降レゼハ）
耳元ではないです。

「先輩? あの、あの、じやあ、あたしたち
カレカノつて事つスよね? ジやああの……
わいわい……映画でやつてたやつ、してわいじうス
か……?」

「うひや、緊張する……ひ、ひ……ちゅ……
……」

miko_b03_p01_029

「あはは、初チユーフす……先輩の口、甘じうスね……
ちゅ、ちゅう……ちゅ、……ん、ふあ……口開け
てチユーフんの、むずかし……」

三口ト

三 パト

「ンシ、ちゅう、れつ……れろつ……ちゅ、ンあ……
ちゅ、ふあつ、ちゅ……はあ、はふつ、れろおつ……
……ちゅ、んつ……はあ、はあ、はあ……」

三 パト

「くくく……先輩の舌あつ……や、いかいツス……は
むつ、ちゅ……れろ、ちゅう……んつ、んつ……
「口クツ……ん……」

三 パト

「はあ……はあ、はあ……先輩のツバ飲んじやつた……
……すい」「ドキドキするツスね、へく……なんか……
……えり、ツスね……」

三 パト

「しかもなんか、先輩……チューしてゐあこだに
れやつてしてくるし……めつわややべーつす、ドキ
ドキして死にやうつか……」

三 パト

「あとなんか……先輩熱いツス、それ……率直に囁つ
て勃起ツスよね……あは……興奮してくれてるんス
か……」「いやあ……照れるといつか、へくく」

三 パト

「嬉しひツスね……あたしでも先輩を誘惑された
んだなうつて……」

三 パト

「パト、主人公に寝あかしられる（三 パトは可愛い、男なら興奮しないはずがない等）

三 パト

「くあつ……いや、だからあ、褒め殺しツスよ、せ
んぱあ、ぐすぐつたくて、んふつ……へくく、
えくくくく、だから、もうじうと、好きツス
……。先輩？ あたし……」

◆位置・右隣耳元・至近距離で耳元に古風な口の囁き

「舐めても、いいっすか……？ 先輩の、お、ち、ん、せ」

◆位置・正面下：主人公の足元に移動。足の間に入り込む。

「んふふー♪ でわでわ……♪ うひやあ、めっちゃガチガチっすね、釘打てるんじゃないスか。無理か。あはは。ひえ～熱い……」

「あんま可愛くないっすね、グロ……でも……なんか興奮するツス……先輩も、男だなあ。にひひつ……あ、これ……せきつぽ、なんか出てるッすよ。……ちゅつ……ん……はあ……」

「ちゅ、ちゅ ツ ん……味、なんか……しょっぱい？ ん～……ちゅ、ちゅう……べる、べる……あ

～、」これがカウパーっすか……ちゅつ、ちゅつ、ふふふ……エロ……あたしたち今めっちゃエロいっすね？」

「ちゅ、ちゅつ……ふふー♪ 先輩のおちんぽ……ぴ

くぴくして、かわいいやつっすね、チユツ、ちゅつ、ちゅつ……」

「ペロッ……れろつ、れろおつ……ちゅつ、れ

ろおおつ……んつ、ちゅう……はふ……んつ……れ……センペイのカチカチでスゴイっす……はあ……スゴイ……んくつ……あむうー……」

◆補足：咥える

三 パチ

miko_b03_p01_044
「んむう、んあ～つ、ちゅうつ、ちゅうつ、ジユルルル
ツ……チユツ、پا۪ت、پا۪ت、پا۪ت、んわゅうつ、ちゅうつ
……ンツ、ちゅうつ、せふつ……せあ、はあ……す
！」……先輩のおちんぽ美味し、……ちゅうつ、はふ
……」

三 パチ

miko_b03_p01_045
「熱く、おひやく、んあ……はあはあ……ふ
ふつ……先輩、『ふ』」こって、また褒めてくれる
んスね～。そーい、パ……だあい好きシスよ…
…。ちゅうつ、ちゅうつ、ちゅうつ、せむう……」

三 パチ

miko_b03_p01_046
「ちゅうつ、れろつ、れろろろつ……ちゅうつ……ジ
ユルつ、ちゅうつ、ちゅうつ、じゅうつ……
んつ、せふ……」

三 パチ

miko_b03_p01_047
「んつ……仮持ちーツスか？ セーんぱい、顔、溶け
てるシスよ～。ちゅうつ、ちゅうつ、ちゅうつ……
んつ、んつ、んべつ、んつ、んつ……」

三 パチ

miko_b03_p01_048
「…………かわせつ、ちゅうつ、ちゅうつ、ジセパンジセ
パン、パン、パン、パン……」

三 パチ

◆補足：咥えながらセツツの部分は次の通り「ぱくぱく」と「あたしのお口」
出して、先輩」

miko_b03_p01_049
「ちゅうつ、びくびくしくるつ……せふ、んむう……
ひく……ちゅうつ、あたしのおくわら……ちゅうつ、ひく
く、くんぱあい……つー……ちゅうつ……ちゅうつ……ジ
ユルルルルツシ」

◆補足：射精する主人公

◆補足：咥えながらセツツの部分は次の通り出ている、お口、出ている

三 パト

「んひ、んひ、ハーハーハーハー…。んひ、んふひ、ん
くひ…。んふひ、れくる…。おくる、れくる…
…」

三 パト

miko_b03_p01_051
「ンシ、ンシ…。ンシ、パクシ、パクシ、パクシ…。
ふさあツ…。さあツ、さあツ、さあツ、さあ…。
はーひ、はああツ…。んひひひ…。めいすいひす
ね、先輩の精液…。」くく…」

◆位置・画面下：主人公の足にしだれかかりながら

miko_b03_p01_052
「でも…。ぬわやくぬわやくナナナナ…。ぬわやく
ちや…。うわしーーーーーーーーーーーーーーーーーー
く。ぬだし…。のこり、セバゼバババババババ
ニ…。」

◆位置・正面下：やのまゆ寝てこまわ

三 パト

miko_b03_p01_053
「…。すう、すう…。すう、すう、すう…。」

三 パト

miko_b03_p01_054
「すう、すう…。すう、すう…。」

◆演技：三 パトの寝息長めに

三 パト

miko_b03_p01_055
「んうん、せんせあご、あくくくひ…。
…。すう、すう…。」

◆補足：寝息のあおフヌーーナウト

▼パート一終了



ちよろかわナマイキ後輩
収録台本

キャラクター：ミコト

ファイル：b03_p02

△□◆ちよろかわナマイキ後輩と毎日全肯定しあつて相思相愛ナマハメセツクス

▼パート2..映画デート後ラブホで初体験

繁華街のがやがや。
22時頃。
客引き等。

◆位置・左隣…はぐれないよう、主人公と手を繋いで歩いています

「やー、観に来てよかつたツスねー！」さすがの前評

判！ これ、配給決まつたらまたシネコンに観に行きましようよお先輩！ ぜつたい売れますよーの映画。楽しみっすねー…………てか…………」「

◆位置・左隣近…「…つとと」でよろけて主人公側に押されるミコト

「なんか、映画館入る前と後で、町の様子大分変つて

酔っ払いとぶつかりよろけるミコト。受け止める主人公。

◆位置・左隣近…そのまま主人公に密着

「ふー。先輩、すみません。……くく、あつがねー！」

ふー。先輩、すみません。……へへ、ありがとーご
ざいます♪ にしても、酔っ払い多いっすねー…微
妙に坂道だし…。しくつたなー、先輩とデートだつ
てはりきつちやつて、ヒールなんか履いてきちやつ
た…」

主人公、ミコトの容姿を褒めまくる。靴、服装、髪型等。

miko_b03_p02_004
「ふう、え、せ、先輩？」あたしの服、そんなに見

ふえつ、え、せ、先輩？ あたしの服、そんなに見て
くれてたなんて……意外っすね。いや、意外じや
ないツス……優しいって知つてたし……もう、嬉しい
ツスよお！ もう、もう！」

三 ハト

「靴も、服も、髪も…先輩に気に入つてほしくて、時間かけて悩んできたツスよ~。んふふー、もーと褒めてもこころすよ~。」ハトちゃん、意外と乙女ツス。にくにくくくー~」

ふぞけて軽く肩タックルするハト。

miko_b03_p02_006

「——でも乙女するのつて疲れるんスね…慣れない服つて、肩凝るな~。あたし、ちょっと休みたいつす…あ、ホラ、先輩、見てください！ 映画見放題つて書いてありますよ、あの看板！」

◆位置・正面：「寄つてみません~」以降、主人公の前に出て立つ張る形

miko_b03_p02_007

「『予約なしでも歓迎、リラックスルーム』…寄つてみません？ ちょっと靴脱いでソファーでのんびりしたいツス。あ、スイーツもあるーー！」

主人公、戸惑いつつも賛成。（「じゃあ、寄つてみようか」）

miko_b03_p02_008

「やつたー♪ 先輩、せつ、れつひー」—ツス！』

◆補足：場所移動。編集で少し間を開けます。

●SE：雜踏OFF。ホタル入室。

●SE：ソファに腰かけるハト。ソファのフカフカ具合を楽しむ

◆位置・正面下：主人公の畳の前に座る

miko_b03_p02_009

「ふいーつ、解放されたあー！ 先輩も」つちきて座るツスよ~。ふつかふかツスよー！ すー」なーれ！？ 楽しいーつ！」

◆補足：主人公もハトの隣に腰掛けます

◆位置・左隣：主人公に密着。囁き声、甘えモードです

۱۷۷

えへへ……疲れたツスね、先輩？ でもさつき、酔つ払いとぶつかつちやつたとき、支えてくれたの男らしくてときめいちゃつたツスよ。先輩も、やつぱ頼れる男ツスね」

主人公、褒められて照れ隠し。「そ、そんなことないよ。疲れてない? マッサージするよ?」勢いでマッサージを提案する主人公。驚くミコト。

「ふえつ、マッサージ？ い、いいツスよそん、先輩だつて疲れてるんじやないツスか？ むしろあたしのほう」そ――」

◆位置・左隣：横に座つたまま太ももをマッサージ

ミコボ3_p02_012
「いや、めんど、あのー、ねたー、ふふ、く
ぐった…… やは、隠さんヌよお~~~~~」

最初は遠慮するが、押し切られて受け入れる。

くすぐつたがりつつ、段々黙だまつて。

◆位置・左隣..太ももマツサージ終わり

「んつ……ん、んつ……あつ……はあ……ん……あ……、お、終わ
りッスか? お、お疲れッス……はい、おかげで
ほぐれて、良いかんじッス……」

「……先輩、『ラジドハンド』ですね。にひひ。わすがつ
す。手がおつきこし、力強いし、めわやくちや氣持
ちよかつた……」

主人公、褒められて露子の。『せか』やマシカージよいか」と囁く。

「え? おかわり、良いんスか? なんすかもう大
盤振る舞いじやないつすかう先輩をうじう氣前の
いじと?、好きッスよ。じゃあ…、えつと…じゃ
あ…」

●SE：脱衣衣擦れ ブラウス、前ボタンを外すタイプで脱衣。ブラも外す
◆位置・正面：ベッドの上で正面で向かいあい、囁き甘えモード

「う、うう…お願いして、いいッスか…? なんか
…苦しくて…え、映画館の座席のせいかもしない
ッスね、くく……」

「先輩…あ、ちや見てるッすね…あたしのおつぱ
い、ど、どですか? 変じやない? 先輩の好き
な形してますか…? ん…えへへ、その顔見てた
ら、分かるッス。気に入ってくれたんすねー、よ
かつたあ…」

「それじゃあ…先輩の手で…私の『ラジドハンド』で。
ふふ、あたしの」とマッサージして、気持ちよ~く
してほしいッス」

''' ハ ハ

「ほ、先輩、手。…なに遠慮してんスか、あたした
かもつただの先輩後輩じやないでしょ? あたし
の彼氏、なんですか?…好きにしていいんすよ。…
…ほ、」

ミハトに手をひかれて胸を触る主人公。最初はおつかなびっくりだが、段々執着
的な手つきに。

◆位置・正面近・距離を詰めて正面回す

ミko_b03_p02_023
「ん…。うう、できぬじやないツスか。じょうず
じょうず…ん…く…先輩の手え、あつたかい…
ん…は。…あたしのおひぱい、おつきい、つ
すかね、やつぱり」

ミko_b03_p02_024
「…皆さわよーと悩んだとれやねりましたけど…
…今、セーラーブーが報われたつよ?」

ミko_b03_p02_025
「だつて、ううー、先輩のやの顔。…嬉しいツス。
先輩に気に入つても、わつために、今日まで育つて來
たんすね、あたしのおひぱいちゃん…じつぱい可愛
がつてあげてほしいツス」

''' ハ ハ

ミko_b03_p02_026
「んあ、ん…ん、ん…はあ…先輩の手のひらじめゆ
くされるの、なんかドキドキする…伝わつてます
か…。…く…ドキドキしますよ、先輩…なん
か段々、手つかむやうになつてきてるレ…え
へへ…。」

''' ハ ハ

ミko_b03_p02_027
「ん…、あ…ん…あたしのくび…うあ…恥ずかし
いツス…んあつ、こんなにシソ…固くなつて…先
輩の手が気持ちよくて…はあ、もつと…もつと触つ
て欲しいツス…先輩の指で、くび…じつて…
…。」

乳首を責める主人公。

miko_b03_p02_028
「んんんん…あ…はあ、はあ…せぬ…ひ、ん…
…あ……指でぬをひ、つああれると…
背中、びくびくしたやつ、こんな感じシスね…」

miko_b03_p02_029
「でも…身体の奥がぼわーって温かくなつて…
ぼーっとしてきて…気持ちいいシス…先輩、もひと
…わいぶ、やの指で…じつぱい触つてください…
…」

乳首の責め激しくなる。せりあつ感じて壁を遠慮がなくなる〃Πテ。

miko_b03_p02_030
「んあ……あ…、あ…、う…う…、はあ…、
はあ…ひ…！、ふやうん…あ…、あ、先輩
や…、かくびもひ…、いじめてほしつす…」

miko_b03_p02_031
「ん…、ぐ…ぐ…、う…、う…、ね…、ねして…、ああ…
あ…、あひん…せ、先輩…先輩、せんぱあ…
う…、わ…、マ…カ…ジ…、し…ほ…」

主人公の手、〃Πテの股間く。ヽヽヽ。

miko_b03_p02_032
「うあ…ん…あ…、せん…、ぐ…よ…、よ…
スね…く…下着も…悩んで選んだシスよ、先
輩好きかなつて…白と黒どっちが興奮するのかなつ
て…、どっちが良かつたんすか…？」

miko_b03_p02_033
「くくく…今度、一緒に下着、買…に行きます？ 先
輩の娘に入つたやつ履きたいな…」

۲۷۱

o_b03_p02_034
あつんの…あへ、やっぱ…捕い…先輩、あへ、
あへ…弱じる、」かわいのす…だぬ…
あへ、ああシ…、 ゆび…つまんじゃ、だぬ…
」

「ミルミルの魔の手……おれ、おれ……せぬ」

... !

「先輩ゆびつ、あゝあゝ、先輩、せんぱい」

クリ責めで軽く絶頂する〃コト。

「はあつ…………はあ、あああ…………つ、はあ…………やば…………せ
んぱい、あたし…………今、軽く…………イツちやつた…………先輩
の指…………い、イツちやつた…………あう、恥ずかし…………
…………つ、はあ

۱۱۷

「でも……なんか胸の奥からじわ～って、先輩の「」のと
好き～って気持ちが、やばいからじです……まじで…
なんすか」れ～…………愛～ あ…」

主人公の勃起に気付くミコト。

۱۱۷

「あたしも、大好きな先輩と一緒になりたいです……」
先輩、あたしの処女、もひつてくださいね」

●SE: ベジで押し倒す物音

◆位置・正面下・正常位、主人公が上

ミムテ

ん……先輩……いつでも、いいツスよ……あたしの、こ
こ……、奥までずつぱり、気前よくやつちやつてく
ださい……。ナマで、いいツスよ？ だつて先輩、あ
たしの彼氏じゃないツスか……」

ちよつとずつ挿入。

「あ、あ……先輩の、やめっぽ……熱い……んつ、

んっ、あ……あ、あ……」じ開けられちゃ——うんんん
んっ……あっ、うううつ……中……あああ……つ、
入つて、くるつ……ううつ……
「

「はあ、はあつ、はあつ、は
んうつ！ いッ……」

三一

「く、平氣ツス、先輩……そんな顔しちゃ、いやつす……ね、処女喪失祝いに……キス、してくれますか？えへ……んつ、チュつ……ちゅ、んつ……ふふ、痛く……ん、なつ……ツク……」

マッサージも、して欲しいっス…」
「ねえ先輩？」
mi_ko_b03_p02_045

「ねえ先輩？」

三 ハナ

miko_b03_p02_046
「んつ……あう、先輩……おつぱい触る手え、優しいで
すね……キスも、す「」く優しい……んつ、はあ……はあ
ん……あんん……はあ、はあ……慣れてきた、か
な……?」

miko_b03_p02_047
「えぐく……す」」シクスね、今……あたしのおまんこ、先
輩のおちんぽで埋まっちゃってるシス……くくく、
す「」じ……あたし、先輩とセックスしてる……ナマハメ
セックスしてる……はあ、はあ……嬉しい……」

miko_b03_p02_048
「先輩……もつとね、おつぱい、」」ハヤッて揉んで…
んつ、あ……あつ、あ……ちくびもいじめて……先
輩、んつ、あつ……わわわわ……わわわいじよお…
…」

miko_b03_p02_049
「はあ、はあ……つ、も……動いて先輩……大丈夫だ
から……動いて欲しいシス……」

動き始める主人公。

miko_b03_p02_050
「んんんああああつ、ひううんつ……す」」おち
んぱ引つ張り出されるの、やば……あああつ、あつ…
うううう、お腹の奥、ぞわぞわする……わわわい…
んあつ」

miko_b03_p02_051
「……先輩今……もハハ一回……ひひん、もつとこひぱい…
出して抜いて、いひぱいして……」

主人公。

miko_b03_p02_052
「あつ……あつ……あつ……あつ……あつ……」
あつ……あつ……あつ……あつ……あつ……

ツ、ああああつ……先輩つ、んつ……先
輩つ……」

miko_b03_p02_053
「はあ、はあ……せあつ、ひやうん！ あつ……す、
じょくじょく幅ひてるシス、あたしのねねこ」擦け
あやつたみたい……」

miko_b03_p02_054
「先輩、あたし」んなに濡れてんの、人生初だと思
ます……す」じシス……先輩との恋人セックス……やばい
……幸せすきでばかになつちやう……」

miko_b03_p02_055
「あああ……んつ、んつ……んつ……はあ、はあつ……やつ
と、もいとね……先輩、もいとし……」

miko_b03_p02_056
「うん……れもちじ……いつぱいかきもねして……お腹の
裏つ側、おちんぽのでつぱつたと」じ、ほじほじし
てほし、シス……んつ、あつ」

miko_b03_p02_057
「……あつ……ああああ……せんぱい、あつ、あつ！
あつ、あたあつ、あつ、あつ！ 先輩のおちん
ぽおつ……」

miko_b03_p02_058
「すんすんつて、おくをまど隈くつ、んあつ、あああ
あつ……あつ、あつ、あつ……ひりうつ、いつぱい
ほじつて、先輩ほじつて、あたしの気持ちいじと
「」」」シシしてるつ、あああつ……」

三 パチ

miko_b03_p02_059
「ひやうん、ひやうん、ひやうん、あつ、あああつ……」

「なんすか先輩、なんでそんな腰動かすの上手いんすか？ あたしの気持ちいい」と「なんで全部分かるんですか？」あいあい、困るシスよ、先輩の触ったと「全部わからんわやつ……」

「ああ、あ、ううう、先輩、やうやく……やう
と、もう少し迷わず……うまい動いて欲しき
シス……先輩もう少しやうやくなつて……」

◆補足：主人公激しいピストン。イキそうと申告する

◆補足..同時に絶頂する二人。

「ひょーひょー玉ねぎ、あだしの奥……先輩で
miko_b03_p02_065

miko_b03_p02_065
「びよーびよー丑れやしゆ、あたしの奥……先輩で
いっぽいになつてゐ……ああうう……あへ、あへ……
……またイクッ……ああああああ……」

mi_ko_b03_p02_066
「トマバメで……虫食われて……イシちやつたシス
……やせ……ぬいぬや幸セ……」

mi_ko_b03_p02_067
「はあい、はあい……はあ、はあい……先輩……また
胸の奥から、じわじわじわ……なんか湧いて
きて……愛つすかね、やせ」」

mi_ko_b03_p02_068
「先輩の「」、大好きついだけじゃ呪りなくなつてしま
たんすかね……えくく……」

mi_ko_b03_p02_069
「ちや……先輩、キスもつと……、ちや……、ちや……
ん……はあ……先輩……」

◆演技：呼吸落ち着くIII ノ。

mi_ko_b03_p02_070
「……ホントの「」と「」と、あたし、あの映画館隣ん
だのって……「」ホ街に近いって思つたからで……
迷子と「」のも、やの……仕込み……だつたりし
て？」

（主人公「分かってた、なんとなく氣づいたな……こごめ」）

◆位置・正面：至近距離でおでこをいりこして囁き声です。

mi_ko_b03_p02_071
「えくく……先輩、ありがとうございます。あたし、
まわりくどい」としちやつたシスね……つまばぐ
レートに「」シス。先輩エツチしよーーつて……
え、いやですか？ ん、難しいなあ……」

◆位置・正面遠：起き上がりて主人公の前に

miko_b03_p02_072
「ね、ね、先輩。せつかく映画見放題の部屋なんだし

……ちょっとと見て行きません? ね、うつ。やつた
う! それじゃあそれじゃあ……これどうす
か! ? まだ見てない? よかつたー! そん
じや、再生つと! 」

◆補足：はじめ三ノトの声 フュービードアウト

▼パート2終了



ちよろかわナマイキ後輩
収録台本

キャラクター：ミコト

ファイル：b03_p03

◆◆□◆ちよろかわナマイキ後輩と毎日全肯定しあって相思相愛ナマハメセックス

▼パート2：就活応援「ふいふえつち

◆補足：季節を冬で想定しています。

●SE：料理中。チキンライスを炒める音

◆位置・正面：〃パート視点なのでしづらく正面固定です。

〃パート

mi:ko_b03_p03_001
「ふんふんふふーん、今日は回棲半年経過の記念日つ
すよー。先輩、あたしがオムライス作つたるふんな
顔するかな？ 今から楽しみつすねー」

mi:ko_b03_p03_002
「ふふー早く帰つて」ないかなー。あ、でもオムライ
スつて狙い過ぎつすか？ え、もしかしてちょっと
イタい…………まつ、いつかつ。ウマいしー！」

●SE：階段上の足音 段々近づく

◆演技：待ちきれずワクワクした様子で、小声で呼ぶ〃パート。

〃パート
「おふ、帰つてきた！ 先輩、先輩♪ セーんーぱい
♪」

●SE：ドア開く

◆補足：主人公視点に切り替わります。編集で少し間を開けます。

◆位置・正面遠く近・主人公を出迎える〃パート

mi:ko_b03_p03_004
「おつかれりなさー、い…………せ、センパイ？
ビーしたつすか？ なんすかそのクソデカため息…
…」

mi:ko_b03_p03_005
「え、ちょ、泣いてました？ 泣いてない？ ホン
トつすかねー？ ほり、お外寒いんだからはやくド
ア閉めて」

〃パート

●SE：ドア閉じる

◆位置・正面近：玄関で主人公を慰め $\text{III}\Gamma\text{L}$ 。

miko_b03_p03_006
「…………」 Γ 「一カツ。……「ほくいかなかつたんすか？
昨日あれだけイメントレしたのに……眞面目が裏
田に出ちやつたんすかねー」

miko_b03_p03_007
「肩の力を抜くくらいでちよ「びび」りて自分で囁いてたじやないっすか。おー、よしよしよしよー、先輩先輩、ほらほらあ」

葵ちひむお Γ 主人公を励ました $\text{III}\Gamma\text{L}$ 。頭をナデナデする等。

miko_b03_p03_008
「んもー……大丈夫っすか？ ねいせい揉むー。」

$\text{III}\Gamma\text{L}$

miko_b03_p03_009
「ほく、ほく、 $\text{III}\Gamma\text{L}$ かやんのねいせい、頬ほひるつす
よー、ほくほく」

主人公に胸を揉むか $\text{III}\Gamma\text{L}$ 。

miko_b03_p03_010
「もみもみ、 $\text{III}\Gamma\text{L}$ に照れてんですかあ、
指、力入つてきただじやないっすか。ほら、Hプロン
のトヒイ」 Γ 葵ちひむ「んつ……はあ、はあ……」

$\text{III}\Gamma\text{L}$

miko_b03_p03_011
「 $\text{III}\Gamma\text{L}$ の手触り、気持ちいいーんじやないっすか？
もふもふでしょー」「れ、めいわやぬくぬくなんですよー。んつ……ん、先輩……んつ……はあ……ん……そ
うわつ……元気戻つてきたんじやないっすか……？
はふ……」

主人公、 $\text{III}\Gamma\text{L}$ の勃つてきた乳首を責める。

miko_b03_p03_012
「んあつ… あつ…はは、見つかっちゃつたつすね…
…やつつすよ? あたし、玄関でまだ靴履いたまま
の先輩に、エプロンつけたままおつぱいもみもみせ
れて…興奮して乳首固くなつてきたつす…はあ、
はあ…ん…」

“”口”

miko_b03_p03_013
「先輩…今日、回棲半年記念つすよ…」Jさん作つて
たんですけど…はあ…」

◆位置・正面密着・耳元囁き（右耳）

miko_b03_p03_014
「…あたし、えつちな気分になつてきちゃつたつす…
…先輩最近いそがしーし、シユーカツ頑張つてゐるの
応援したいし…でも…今日は、息抜きの日つす。
ね? ベシド、いきましょーよ」

◆補足・場所移動 ベシドへ。編集で少し間を開けます。

◆位置・正面下・ベッドの脇にたつ主人公を説く“”口”

miko_b03_p03_015
「んう…先輩…おーいどへ せひせひ、””口”わやん
のほかほかおつぱいで冷え切つた頭暖めてあげるつ
す」

主人公の頭をむき出しの胸で包む“”口”。

◆位置・正面密着・ベシドで抱き合つ二人。以降至近距離、耳元に囁き多めの声
です

◆補足：ちぐたい＝「冷たい」です

miko_b03_p03_016
「ふやッ、先輩の耳、ちぐたいつすね。よちよちよ
ちよち、頑張つたつすね…先輩はじつも頑張つて
るつすよ、いい子いい子」

“”口”

miko_b03_p03_017
「ほひ、好きなだけちゅーちゅーしていいつすかひ
ねー? んう、あんつ…ふふ、やうやう」

主人公、"Π"の胸を撫み、乳首を吸い。

miko_b03_p03_018
「んぐ……あい……あんぐ……あい、……んんぐ……はあ
はあい……んぐ、ひやうんぐ……はあ……レロレロす
るの、ヒロじゅす……」

miko_b03_p03_019
「んあい、せんぐ……歎、ぞわぞわしたあ……せあ、
はあい……。先輩の舌、あつたかい……身体もぽかぽ
かしてせたつすね……、よかつた……、ふふ」いい
「」……」

主人公の頭を撫でる"Π"。

miko_b03_p03_020
「んぐ、んや……はあ、んぐ……ひやうぐ……ンッ……
かぶつて甘噛みされると、お腹キュンとしてちや
ううす……はあ、あたし、わよい……なんですかね
……？」

miko_b03_p03_021
「はあ、んぐ……はあはあ……デキデキする……先輩が
夢中であたしのおっぱい吸つて……はあ、んぐ……あ
ッ……時々ぐうやつて強引な……めつちや興奮す
るひすよ……」

miko_b03_p03_022
「はあ、はあい……あい、あい……舌あ、それ、やっぱ
あい……んぐんああい……はあはあ……先輩……せん
はあじ……」「

miko_b03_p03_023
「……勃起してきたつすか……？」にくく、先輩、元気取
り戻したつすね。んふふー。よきかなー、あたしも
先輩にちゅうちゅう吸われて、あわー」濡れて……
ぬつかやぐしょぐしょになつたつすよ、もお……」

「いや、おだねぬかせ。先輩のおねえさんせせ、あたしがママとして處ぬれぬれ」

「最近構つてあげてなかつたんじやないんすか、」の
おちんちん君を。ねー? 構つてもらえなくて寂し
かつたつすよね? ……ウン! (裏声) ……ほりあ、
おちんちんも!」
「おちんちんも!」
「おちんちんも!」

三十一
miko_b03_p03_026
「ヌーヌヌ、今日せぬだしがかねじがハシナムか
ヌヌーハ、ナジナジ、ヨーヨー……」

「先輩は、大人しくあたしの乳首吸って元気出して、あたしにおちんちんナデナデされて甘えてたらいいんですよ。今日は頑張ってきたじゃないですか。ね？」

「んぐ、ね……ひらぢい、んぐ……せぬ……先輩にねえい
ねえいやだねえ、派抜かじこいつ……。んぐ、んぐ
……」うねり真上なごりのす……」

「まあ……へ、まあまあ……先輩? 先輩なら、出来ます。ちやーんと出来ます。あたしはセンパイのや」「うう、知つてますわん。わざと来ねりますよ、みんなにも。ね?」

「だから元気だしで、また明日から気持を切り替えて
いきましょう?頑張ってる先輩の」と、あたし
はだーい好きayah。ふふふふー」

「...御社か弊社か知らないし、世界中のだれもが先輩
の「」といらなーいって叫ひても、あたしだけはやつ
たい先輩が必要つす」

◆演技：「なーんて」 もぐもぐ噛む顔

「いのまほひとこうじぬしかやねつかな? なーんて
...わいとー。」

主人公、立たれ。〃口とおれを叫ぶ。

「んふふ。おれを畠われるせどりとじやないつす
よ。あたしのせどり、こつわのおれをしたいんで
す」

「先輩にはいつも懸命きじとわらひたり、レポート助
けでもらひたり、いっぱい褒めもらひたり、愛し
てもらひたり...大大大大、大感謝つす。感謝祭つ
す」

主人公、〃口とを震ふ。 (いつも助かっている、支えになつてゐる。可愛い彼女で
最高等々)

「ほりあ、今もんひやつてあたしを褒めてくれるじゃ
ないつすか。.....またおれしないと、釣り合わな
いつすよ!」

主人公を押し倒す〃口と。

◆位置・正面上：騎乗位の体勢。距離少し離れて主人公より上側に。

mi_{ko}_b03_p03_037
「トド！」叫び、先輩に、お礼の騎乗位、しゃやひす
よ。世の世の、元気になつたおわんわんを出す
す、ヤレヤレのは分かつてゐるよ」

mi_{ko}_b03_p03_038
「…………田た田た。あー、モハカツチカチつすね、か
わじやつなく、腰からじやつてゐるつす……」ま食
べてあげるから、いい子で待つてゐるんですよー。
んつ、ん……」

揃へやね!! ハテ。

mi_{ko}_b03_p03_039
「んあつ……はあ……んつ……ああ……で、ぱつてねと、
するんつて入つてきただつす……ふあ、わわわい
……、先輩……」

mi_{ko}_b03_p03_040
「んつ、はあはあ……わわわわわ……せんざい……、
んうつ、んつ……んうつ……せあつ、はあつ、はあつ
…………あああああつ……んんうううう……入つ
たああ……」

mi_{ko}_b03_p03_041
「はあつ、はあつ、んつ、入つた……けぬねつ……んつ、
はあ、苦しそひやしぶりのヒツチだから……穴、先
輩の形忘れちゃつてゐるつよ……。もう一度しつか
り馴染ませて、忘れないぐらじ感じやかで欲しいつ
す……」

mi_{ko}_b03_p03_042
「…………」

「先輩……はあ、はあ……先輩」のぞ見て……あたし
は、先輩の「トド」を見てゐたが、だから世の
安心してくださら……」

「んつ、んつ……先輩つ、先輩……がんばれつ……先輩が
んばれつ……んつ、んつ……がんばれつ、がんばれえつ
……はあつ、んつ、んああつ……」

「ああつて奥まで、んあつ、おくやまぢ屈くわつ、先
輩のおちんちん奥つんつんしてゐつす……△、はあ
はあ……」のままぬくつかずねかぬ抜いて……
んあああつ」

「はあはあつ……先輩の腰、今びくつとした……△△つす
か?」

「うわ、やつ、てえ……んつ、んつ……浅じトロド、
「うわ」しつて、おまんこちゅくちゅくつて」すりつ
けるの、氣に入つたんすね? ふふーへ 良じつす
よ、先輩。いつぱい、うーつぱいしてあげるつす
♪」

「はあ、はあつ……んつ、はあつ、はあつ……♪♪
しつ……ちゅくちゅくつ……んううんつ……」

「はあ、はあ……先輩のおつ、お腹の裏つ側、△△△
するのきもちいい……んつ、んあつ、ほりあ、せつく
りやると、先輩だらしない顔する……かわいい……
…」

「余裕なくなつちやう先輩、めちやくちや興奮するつ
す……はあはあ、はあはあ……せら、せつくつてえ
ゆーつくり……ちゅくちゅく……ちゅくちゅくつてえ
……はあ、はあつ、んああつ……んつ、ああつ……

「△△

「…………やばいっす、あたしも…………めっちゃや、感じい、
はあ、はあ……も、力入んない、ん、ん、ん、
はあ」

「…………先輩の、わいわいおひめくじ……ん、はあ、
はあはあ、あたしのおまんこも、わいわいぐちよ
ぐちよで……はあ、ん、ヌルヌルで……先輩の、
奥までずるつて入つて来ちやう、んうあつ……あ……あ
ッ……」

主人公、"「」"を突き上げる。

「あつ……あつ、ふかつ……先輩だめつ、深いつ
す、いきなりつ、んつ！ あつ……んんあああつ
…………奥う、ずんずんされるのやばいっす……」

「ふわあつ……ふわあつ……頭んなか、真の由になつちやうつ
す、ダメつす、あああつ……ふわもちいつ……先
輩、せんぱあい……むつと奥う、ずんずんつ……
ふ」

「おちんちんきもわーーっす、先輩、先輩……ふやああ
んう……」

「あつ、あたしも……腰動いちやう、止まんないっ……
あつ、はあ、はあつ、はあつ、ん、ん、ん、ん、
んう……」

「はああつ、はあつ、先輩つ、先輩つ、先輩つ、
あつ、あつ、好きつ、奥好きつ、先輩のおちんちん
ずほすほすきつ、すきすきすきつ、もつとおつ、先
輩つ、せんぱあい……」

「あー、あーあー…先輩へ、びくびくしてゐるはず、奥
ドームクビクしてゐる、もういくんですか？ イツ
わやうつか？ 嬉しい、あー、あー…先輩好
き、好き、大好き…」

◆位置・正面密着：騎乗位から抱き合う体勢に。以降、ごく至近距離になります（ディープキス）

三十一
「んへ、せぬせぬ、せぬせぬへ、おせこひか……おせー
したぬぬぬぬ、じぬぬぬ、ヤバイつかぬ……
へへ、ぬぬぬへ、ぬぬぬへ……ぬぬ、ぬぬぬへ、せ
ぬ……ぬぬ……」

◆補足…射精&絶頂

miko_b03_p03_066
「さあ、さあ……わのねや飛んじゃうだいよ……飛む
わい……はあ、はあ……さあ……」

「先輩。元気、出たつすか？」
「ふふふふふ。それなり
なによりつす」

「先輩が元気なくなつたときは、またおひばり様ませ
てあげるんで、いつでも言つてくださいね？」にひ
ひ」

「もちろん、ちゅーちゅーしてもいいですよ、大好き
きな先輩のためなら、あたしはいつでも大歓迎です
♪」

۱۷۷

mi_ko_b03_p03_070
「……先輩。あたし、先輩と一緒にいるとなめちゃく
ちゃ幸せです。これつてす、」「ふー」とつすよ。あたし
たち二人、一緒なら、何があつても大丈夫つすよ。
ね？」

◆位置・正面耳元..顔を近づけて耳元で。

「だから……ずっと一緒にいるんですよ、先輩♪」

▼パート3終了